

重要取組シート

危機管理室 防災課

取組項目		津波避難対策の推進	
現状・課題		○本市の津波避難対策は、平成 25 年度に浸水想定区域内の各校区で開催したワークショップ等での意見も参考に堺市津波避難計画を策定した。しかし、策定後 10 年経過し、その間、コロナ禍や高齢化の進展等で津波避難の基本である水平避難に対する考え方の変化や避難認識の低下等が課題である。 ○令和 7 年 2 月に、堺市津波避難計画に基づく緊急一時避難後の避難の考え方について地域等からの意見を聴取して方針を策定し、浸水想定地域内外に関わらず地域住民の意識向上に取り組んだ。 ○令和 7 年 3 月 31 日に発表された国の新たな被害想定に基づき、大阪府が独自の想定作業を進めている。結果は令和 8 年 3 月に示される予定であり、速やかに本市の対策を検討し、市民への浸透を図る。	
取組の内容		○府の被害想定公表を見据え、津波避難の基本的な考え方である東の高台への水平避難を基本とした現在の避難方針や啓発方法について、学識経験者の意見も参考に、市民の避難行動に、より結びつく避難方針を検討し見直す。また、津波避難計画や津波ハザードマップの改正方法を検討する。 ○南海トラフ地震で想定される津波や揺れに対する避難方法の認識向上や備蓄の充実等の事前対策を促進するため、イベント等での啓発や訓練等を通じて、津波の浸水想定地域内外に関わらず市全体の防災意識の機運醸成に取り組む。	
スケジュール	前期 (～9月)	☐ (5 月) 津波避難方針の課題整理、学識経験者への意見聴取 ☐ (8 月) 令和 8 年度の事業内容及び体制案の庁内協議開始 ☐ (9 月) 津波避難方針改正案の庁内確定	
	後期 (～3月)	☐ (11 月) 各校区自治連合会へ避難の基本的な考え方の改正案を意見聴取 ☐ (3 月) 大阪府の被害想定公表 ☐ (3 月) 津波避難方針の改正方針の確定	
	次年度以降	☐ 津波避難計画改正、ハザードマップの改正	
進捗の状況	前期 (～9月)		
	後期 (～3月)		
堺市基本計画 2025	該当する施策	5- (1) 自助・共助・公助のバランスのとれた防災・減災力の向上	
	寄与する KPI	—	目標値 (2025 年度) —

(様式 4)

未来都市計画 堺市SDGs	最も貢献する SDGsのゴール	ゴール番号	住み続けられるまちづくりを	
		11		
	寄与する KPI	—		目標値（2025 年度）
				—